



きらり



つつみんぴっくまであと2日となりました。夏休みが明けてから、友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんできました。小学校のスポーツフェスティバルに向けた取り組みを見て、自分達もやってみたい！と張り切っていました。力いっぱい走ったり、リズムに合わせて踊ったりする中で、体を動かして遊ぶ心地よさや友達と一緒にする楽しさを感じています。

テーマである「きらきら」が衣装や旗、そしてなにより子供たちの頑張りの中に散りばめられています。今回は、つつみんぴっくに向けての取り組みや当日の見所を中心にお伝えします。つつみんぴっく当日、おうちの方に見てもらうことを楽しみにしている子供たちです。一方で、たくさんのお客さん、応援に緊張する姿もあるかと思います。子供たちのきらきら（楽しんでいる姿、頑張っている姿）をたくさん見付け、温かい声援をよろしくお願いします。

みんながきらきら☆つつみんぴっく ～レッツ チャレンジ！～

かけっこ

よーい、ピ！！

かけっこは、年少組の頃よりも距離が長くなり、力強い走りになりました。遊びの中でも友達と一緒に繰り返し取り組んでいます。「一番になるからね！」「速かった？」等と自分の力を出そうとしたり、友達の姿を意識したりする姿が見られています。また、転んでもすぐに立ち上がりゴールを目指す姿に成長を感じています。

スタートの合図をよく聞き、着走の順位でなく、ゴールを目指し最後まで走り抜ける姿をご覧ください！



旗作り

がんばりパワーを出せるように！

年長組の保育室に飾ってある年長児が作った万国旗を見せてもらいました。「オリンピックのときにも旗が飾ってあったよ！」と夏休みの経験を思い出して話す姿もありました。

そこで年中組では、つつみんぴっくで頑張るパワーを出せるように！みんなで一緒に楽しいサファリ探検に行けるように！と旗に自分の顔を描きました。

絵の具の扱い（*左下写真のコメント参照）にも慣れてきて、「目は小さいから赤ちゃん筆だね！」「頑張っている顔だから大きい口にしたよ！」等、自分なりに工夫しながら作り上げました。

顔のパーツ、色を考えながら描きました。



*絵の具の入れ物、描いている画用紙を筆とは反対の手で押さえています。絵の具が垂れないように、筆先を入れ物の内側にトントンと当てて筆についている絵の具の量を調整します。また、描くときには、紙が動かないように押さえながら描いています。



顔の周りにキラキラテープを貼りました☆これで飾りとなる旗もキラキラに！！



表現

サファリの探検に出発！！

「ラパン・パヤッタ・リラリラ・ルラッタ♪」不思議な言葉に合わせて、サファリを探検し踊っている子供たち。どんな意味かわからないけれど…ハクナマタタ！（大丈夫、問題ない！なんとかなるさ！の意味）言葉の響きの面白さや言えるようになったうれしさで何度も繰り返し踊っていました。友達と声が揃うことでさらに楽しくなり、その中で友達とのつながりも感じています。

衣装はというと…ある日、戸外遊びから戻ってくると保育室に大きな包みが届いていました。サファリのライオンさんから素敵なポンポンと腰ミノの材料のお届け物でした。子供たちは大喜びで、さらにダンシング・サファリの踊りが楽しくなっていました♪

当日は、たんぽぽ組みんなでサファリに出発します。元気いっぱいの掛け声、ワクワクする踊り（腰を落とした動き、リズムに合わせて動く等も意識しながら取り組んでいます♪）をお楽しみください♪子供たちと一緒に考えたオリジナルの振り付けも出てきますのでお見逃しなく！（オリジナルの振り付けは『相撲→うさぎ→フラフープを持って回る動き×2』です。オリジナルの振り付けが決まった経緯は、下記をご覧ください！）

包みが届いた翌日から早速衣装作り！
トイレットペーパー芯を（切った）
ガムテープで巻きます。

お腹ベルトは、セロハンテープでスランテープを貼りました。



オリジナルの振り付けができるまで…

9月、小学校のスポーツデーに向けたリレーや踊りへの取り組みを学級のみならず見ました。その中でも特に印象に残ったのが、3年生のフラフープを使った演技でした。自分たちの遊びでもフラフープを使っていたため、3年生を見た後に同じようにやってみよとする姿が見られていました。

その後、「ダンシング・サファリ」を踊り始めてから、「振り付けが決まっていないところがある」という話を子供たちにしました。「じゃあ、みんなで考える！」と言って、実際の振り付けにも取り入れた「相撲」「うさぎ」、その他にも「ぐるぐる手を回す」「ジャンプ」などの動きが挙がりました。そして、その中で「3年生がやっていたフラフープを持って回る踊りはどう？」という声がありました。その考えに対し、学級みんな、大賛成！！しかし、本物のフラフープを持ってサファリを踊るのは難しい…「じゃあ、手でフラフープを作ろう！」ということで、『体の前で両手で輪を作りフラフープに見立てる』振り付けが完成しました！みんなで見た楽しかったことを、自分たちの遊び（踊り）に取り入れたことで、より踊ることが楽しくなりました。

ある日、保育室に謎の包みが…！！



ライオンからの手紙を見えています。ライオンさんはどこから来たのかな～？



光に当てるとキラキラ☆

友達と間隔を空けて立つことも頑張っています！



普段から名札を左胸に付けることを知らせています。手持ちのポンポンは「ひだり（名札の付いている方）がみどり」（「その反対（右）がしろ。」）と自分で左右が分かって持てるようにしています。踊りの中でも、「みどりの波、しろの波♪」のように歌詞に色を取り入れて、どちらの向きに進むか、自分で分かって踊ることで友達と動きを合わせる楽しさを感じられるようにしています。

オリンピックトーチを持ったよ！

聖火ランナーを務めた区民の方の御厚意で、オリンピックトーチを貸していただきました。教師が持って見せると「持って走るやつだ！」「火をバトンタッチするんだよね」などと自分の知っていることを話す姿がありました。

無観客での開催となったオリンピック、パラリンピックでしたが、ご家庭でメディアを通して様々な場面を目にしていることが子供たちの様子から感じられました。実際のトーチを見て、触れて、開催地である東京、選手村のある中央区に住んでいるということ、身近でオリンピック・パラリンピックが開催されたことを感じられる機会となりました。

つつみんびっく開催に向けて話をするときにも、「幼稚園でオリンピックをしよう！」と気持ちを高めるきっかけとなりました。



↑トーチ上部(サクラの形)



↑トーチのオリンピックマーク